

第3回全国福祉経営研究交流会 in 九州・沖縄

「いまこそ命と人権・平和を守る社会福祉の実現を」

第3回 福祉経営研究交流会ニュース 2025.12.4/5

最終号

参加者の感想アンケートより



オープニング・沖縄の祈り

心が揺さぶられました。フラメンコギターとピアノと朗読の声という表現に、想像以上に引き込まれました。目の前に、海や島の風景や、ガマやそこで戦争中起った事実。そこから続く、基地の島の今。知ることを感じること、自分に何ができるのかを考えるということ。このような機会をもっと名古屋でも広げたいと思いました。

リレートーク

保育障害高齢の話をまとめて聞く機会は初めてで共通しているのは担当手不足。経営状況は保育に比べると障害や高齢が厳しく市場化の波に負けないように3分野が共同で立ち向かっていく事も大切ということが分かりました。



基調講演 伊藤周平氏

貧困の格差がつきすぎていることに目を向けず、富裕層だけを見ているような政府のやり方には、裏が凄くあり、そのために社会保障の改悪が続いていることは残念で仕方ありません。海外では家庭で介護するへ給料が出る。ケアすることも仕事と認めてくれる、政府も見習ってほしいと思いました。



記念講演 上間陽子氏

沖縄の現状を聞いて、これまでに聞いていた戦争の歴史や米軍基地の問題とはまた違うリアルさを感じました。沖縄に住んでいない私たちは到底想像できないことが今でも沖縄にあるということを感じました。上間先生は実際にシェルターを運営しているということ、しかし、自分たちが助ければいいということではなく、制度にならなくてはいけないと言っていたことがとても印象に残りました。



第1分科会

理念継承について二つの法人からの提案がありました。バランス良く親子での理事長継承のあった法人と大規模な法人で初代理事長浦辺史氏の理念を法人全体のもとしていく取り組みが語されました。地域の中で積み上げてきた財産を生かし発展させていく在り方、中長期計画の中で法人役員を含む幹部職員の世代交代を見通した人事計画作りの大切さを学びました。



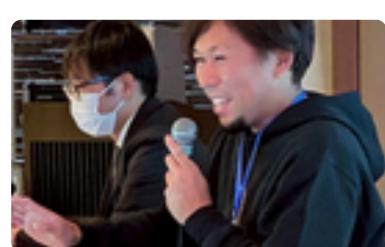
第2分科会

初日に須田さんの福祉制度分析を聞いて楽しく学ばせていただきましたが、その続編ともいえる2日目の法人の課題分析は広範な知見と示唆に富んでいて、さらに面白く勉強になりました。合理的な分析のうちに、「非合理的な価値観」という社会福祉法人の目指す道筋に戻ってきたところなどは、特に心に響きました。



第3分科会

分科会に参加でき、本当に良かったです。提案者の方々のお話は、日頃自分が抱えていた思いを言葉にしていただけたようで、大きな励ましになりました。静岡の保育園理事長さんが「園長の負担を軽減したい」と参加された姿勢にも感動し、人材不足の中でも仲間と共に工夫しながら取り組もうとする姿勢に勇気をいただきました。業務を止めて研修に集中できたことで、学びを深めることができ、管理職も楽しく働きたいという思いを新たにしました。



第4分科会

保育・障害・高齢それぞれで、ケアを受ける側の権利について考えられていることを学ぶことができました。そのうえで、社会保障を受ける権利の改悪がどんどん進んでいる。私たちは訴えることを常にを行いケアを受ける側、提供する側の生活が良いものになるよう行動を起こしていきます。BCPの指示書、できればWeb参加者へも見せていただけると嬉しいです。



第5分科会

保育、障害、高齢と分野の共通の課題は「人材確保、育成」であること、SNSを使っての法人周知、紹介会社などの話がきかれ、現代の情報ツールInstagramやTickTokの活用が必須と思った。あの手この手でがんばっていることや、会議や、活動についても同じような傾向で、まずは出来ることから進めたいと思います。



第6分科会

子ども、障がい、高齢と分野を超えて社会福祉について話せる機会があつてよかったです。参加させていただき良かったです。公的責務の大変さを確認でき、各地の問題や運動などから多くを学ぶことができました。



第7分科会 平和のフィールドワーク

軍都久留米の歴史は戦争の現実と平和の尊さを改めて考えさせられました。これからもこの教訓が生かされる社会にしていきたいと感じた。山口さんのガイドを聞きながら質疑応答できたのも良かった。

〒543-0045

一般社団法人 社会福祉経営全国会議事務局 大阪市天王寺区寺田町2-5-6-902

TEL 06-6772-1360 FAX 06-6772-1376